

## 第 4 回 CIM 導入推進委員会 議 事 要 旨

1. 開催日時 : 平成 29 年 8 月 8 日 (火) 10:00~12:00
2. 場所 : 中央合同庁舎 3 号館 10 階 共用会議室 A
3. 議事
  - ①第 3 回委員会における主な意見と対応及び過年度の CIM 活用モデル事業  
フォローアップ
  - ②今後の検討内容について
  - ③データ利活用方針 (案) について
  - ④今後の WG 体制について

主な議論の概要は以下のとおり

- 過年度の CIM 活用モデル事業における課題を解決するため、本年度も引き続きモデル事業を実施し、その中で解決に向けて取り組んでいただきたい。また、昨年度策定した CIM 導入ガイドラインのフォローアップについても取り組んでいただきたい。
- ECI は貴重な事例と考えられるので、早い段階で何を確認し、何を達成するのかを明確にし、現地と意見交換をしながら実施していただきたい。可能であれば、モデル事務所として経験を蓄積し、人材の育成に繋げていただきたい。
- CIM 導入ガイドラインでは受発注者の役割や作業手順等について記載されていることもあるので、ぜひ発注者側の教育についても検討をお願いしたい。
- CIM を用いた数量、工期、工事費の算出については単純ミス排除による品質確保等、受発注者双方の負担が軽減可能となるよう技術の適用を図るとともに、職員が自ら考えて積算等が行えるための技術力維持についても配慮しながら進めていくことが必要。
- CIM を含めた 3 次元データの利活用にあたっては、セキュリティや防災等の観点も踏まえつつ、建設業又はその他の業界でも活用できるような方向性について検討いただきたい。
- 日本独自の産業文化の中で CIM を活用し成果を上げていくためには、先導的な事務所、先導的な人材の育成が重要と考えられるので、国土交通省、産業界、大学を含めて CIM に関する教育をさらに推進していく必要があると思われる。